

発行所 松本歯科大学校友会  
〒399-0781  
長野県塩尻市広丘郷原1780  
TEL 0263-54-1432  
FAX 0263-54-1087  
発行者 矢ヶ崎 雅  
編集者 大須賀 直人  
印刷所 日本スコラ株式会社

## 校友会支部長会

2009年7月18日(土)  
松本歯科大学30年記念棟大会議室

7月18日土曜日の午前11時より松本歯科大学校友会支部長会が30年記念棟大会議室で昨年度に続き開催された。支部長会は専務理事の岡藤範正の開会の挨拶より始まり、校歌斉唱の後、矢ヶ崎雅会長、森本俊文学長より挨拶をいただき会議へと移った。



検討事項として一、役員改選について、一、広報紙について、一、質問事項、一、その他について意見交換が活発に行われ、予定時間の2時間を超過し13時20分に閉会となった。参加した支部長の方々は終了後には矢ヶ崎会長や役員と終始懇談された。

その後、松本歯科大学歯科放射線学講座教授田口明先生から「歯科用X線CTによる骨量と骨質の評価法」について御講演していただきました。デンタルX-Rayのハンズビルド値（CT値）の測定が出来るかどうか？ヘリカルCTとコンビームCTのCT値の正確性についてお話しいただきました。MRIは本来硬組織の診断には向いていないと言われていましたが、骨に対して有効な情報が得られる事を披露されました。また医療被爆（特にX線CT）の危険性に関しては、米国科学アカデミーの出した



## 本部・東海4支部 共催学術講演会

2009年7月12日(日)ミッドランドスクエア

2009年度松本歯科大学校友会本部・東海4支部共催学術講演会が、7月12日(日)にミッドランドスクエア15Fのミッドランドホールにて行われました。暑い中、4地区の校友会会員はもとより愛知学院大学、広島大学の多くの先生方に聴講頂きました。

声明について述べられ、MSCTに比して歯科用X線CTは半分程度の被曝量であることを説明され、今後放射線歯科医として超音波を使用した診査の実現が使命であると話されました。

竹本憲夫愛知県支部副会長の開会の辞の後、吉田勝弘愛知県支部会長の挨拶では、講師の先生方が松本歯科大学とどう関わってきたかについて説明がありました。

次に松本歯科大学保存学第1講座教授吉成伸夫先生から「歯周組織再生療法—現在と将来—」について御講演していただきました。大学病院に来院される患者さんの中には潜在的にまだまだ多くの歯周病患者が存在するとの報告がありました。今までの歯周治療は長い上皮性付着で治癒する為再発が起こり易く、また切除療法では審美性の回復が難しくアタッチメントロスが起こってしまう。これからはこれらの欠点を克服した再生療法が歯周治療にも多く応用されていく可能性があると話されました。また3次元的に骨の観察ができるX線CTが非常に有効であり、必須のものであると述べられました。

高木 靖雄(16期生)

生御自身、松本歯科大学時代からインプラントに携われ、その後はStraumann社で研究され現在に至った話をされました。各メーカーのインプラントもここ十年ぐらいでかなり技術的に確立されていると話され、現在、愛知学院大学病院では患者さんを診査した後、50人もの各科の先生、テクニシャン、ハイジニストとカンファレンスをしているそうです。

講演後、本部・4地区を代表して吉田勝弘本部副会長より御講演いただいた3教授に感謝状が授与されました。御聴講された先生は、各分野で進歩し続ける歯科医療を垣間見る有意義な一日が過ぎたのではないかと思います。

## 香川県支部 支部長就任の挨拶



増田修一支部長

この度、4月の総会にて中井護支部長（7期生）よりその任を引き継ぎさせて頂きました増田修一（6期生）と申します。よろしくお願い致します。

香川県支部は平成6年に全国で26番目の支部として発足し、本年度無事15周年を迎えることができました。本学並びに校友会本部の絶大なる御支援、御指導の賜と深く感謝致します。

入学試験の折、四国出身の私が生まれて初めて見た北アルプスの『白雪吼ゆる気高き霊峯』のその冷徹とも言える荘厳さに心が打ち震えた事を今でも鮮明に思い出します。また学生時代の夏の帰省時、瀬戸の朝風、夕風で有名な湿度も高い蒸し風呂のような気候の中、『妍麗の紅』に染まりゆく爽やかな『桔梗ヶ原の夕べ』に恋い焦がれていたことも記憶しています。このよ

うな素晴らしい環境の中で遊び、友と巡り逢い、様々なことを経験できた6年間は私の人生の中で最も光り輝く時代の一つと言っても過言ではありません。

今、歯科界は大変困難な時代を迎えています。多くの私立歯科大学が入学者の定員割れを起こす中、我が母校も例外ではなく実に4割以上の欠員を出しています。歯科医師過剰、医療費削減政策など原因は様々ですが、大学としての焦眉の急は、まず国試合格率の向上以外にはありません。如何に高邁で理想的な理念を掲げようとも内容が伴わなければ、それは画餅にすぎません。世間の人々が歯科大学を評価する基準で最も判り易い物の一つが国試合格率と考えます。非常に低俗な言い方で申し分けないのですが、学費が一番かかる大学が最低の国試合格率では受験生及び父兄から敬遠されるのは当然の帰結でしょう。

我々が学生の頃は創立間もない新設校の為、その評価も落とすまいと大学当局、教職員、学生が一体となり教育、実習、国試対策など気概と信

念を持って取り組んでいたと思います。また先輩卒業生から「うちの卒業生は他の大学の卒業生より早く臨床に順応できるから評価が高いよ。」との声を聞けば、どこか誇らしい気分になり充足感に満たされた覚えがあります。あの恐怖のポリクリの保存科や、多くの臨床症例を与えて下さった小児歯科の御陰であると今さらながら感謝致します。

我々校友会は各々羽ばたいた各地で歯科医師会活動、地域社会とのコミュニケーション、ボランティアに励み、日々の臨床においては真

## 福井県支部 支部長就任の挨拶



白崎有彦支部長

この度、二代目支部長を就任させていただくことになりました三期生の白崎有彦です。福井県支部設立以来、二十数年間、一期生の小原浩之先生が務めてくださった大役を私が引き継ぐことになりました。昨年以來、米国発の世

塾に患者様と向き合い誠心誠意診療に取り組まねばなりません。そのような地道な努力を重ねることにより徐々に松本歯科大学の真の存在価値が認められると確信します。

文中、非常に無礼な文面、申し分けございません。しかしこれも偏に我が母校を愛する故と御理解、御許しを頂きたいと存じます。

最後に本学並びに校友会が益々発展する事を心より祈念し、また香川県支部に対しまして、より一層の御指導、御支援をお願いして挨拶と致します。

界同時不況の中、歯科界も、我が県支部設立当時、国民総医療費の一割を占めていた松本歯科大学が、昨年度国民医療費概況によりますと約7・6%まで落ち込んでおります。この苦境のなか、微力ではあります。松本歯科大学校友会の先生方のご支援、ご協力を得ながら責務をまっとうしたいと存じますので、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

福井県支部におきましては、いままで、総会を含む年

## 千葉県支部 支部長就任の挨拶



伊藤晴久支部長

二回の例会を行い医療保険部の先生による保険指導、その他の情報交換を行ってきました。私もそれに倣い、いまの状態を継続していきたいと思っております。

また、校友会本部の求めに答えられるよう、一層努力し

てまいる所存ですので、叱咤、激励をお願い申し上げます。

最後に松本歯科大学校友会の益々のご発展をお祈りしまして、就任の挨拶とさせていただきます。

また事業の参加率も年々低下してきており、苦慮しているところですが、

今後は経営基盤の悪化に伴い、年費納入率の減少が起き事業執行において支障をきたすことも考えられます。とにかく役員一同、会員のため会のために取り組んでいこうと思っておりますので、ご指導、ご協力宜しくお願い致します。

今年度より千葉県支部の支部長に就任しました6期生の伊藤と申します。

前任の栗原先生におかれましては、校友会の活性化のため多義にわたる事業にご尽力され、真にご苦勞様でございました。

微力ではございますが、私も精一杯努めさせていただきますので宜しくお願ひ申し上げます。

さて千葉県支部は144名の会員がおりますが、東京歯科大学や日本大学松戸歯学部にも勤務されている会員も多く、異動等により会員の把握が非常に難しくなっております。

## 山梨県支部

### 支部長就任の挨拶

2009年4月18日



小林剛史 支部長

平成21年4月18日に行われました第22回松本歯科大学校友山梨県支部定時総会において支部長を拝命いたしました。これまで専務、副支部長として支部の運営に携わって参りましたが、今回は長としての判断及び言動が求められることとなり、尚一層気が引き締まる思いです。微力ではありますが精一杯努めたいと思いますので、前支部長の原俊先生同様、宜しくお願い致します。

現在、一期生から二十四期生までの41名が当支部に所属し、学術、福祉を中心に活動しています。新設校からの卒業という事で発足当時はいろいろな面で大変でしたが、その同窓生も今では県歯科医師会、各支部、連盟、審査会等、様々な分野で活躍しています。今年度は支部内部の結束を固め、近県支部との交流を一層深めることを目標に、活動していく所存です。ますます厳しくなるこの歯科事情のなか共存共栄の道を模索しているところ です。

結びに、松本歯科大学校友会、会員の皆様方の益々のご活躍、ご健勝を祈念申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

## 富山県支部 総会・保険研修会&懇親会

2009年5月23日(土) 富山第一ホテル

平成21年度の富山県支部の総会は5月23日(土)、午後6時から富山第一ホテルにておこなわれた。林先生(12期)の司会で始まり、先ず支部長(村山)が4月28日の本

澤本副支部長からの「4月で現執行部の任期が終了したが、本年度も引き続き現役員の継続で良いでしょうか?」という提案は、「ライオンズクラブで活躍している」釣谷先生の「異議なし!」の力強い発言で皆からの承認を得ました。

総会終了後、富山県保険医師会副会長の太田真治先生による「厚労省個別指導の傾向と対策」の講演を拝聴しました。開業医にとつては大変に緊迫感のあるテーマだったので質疑応答もかなり盛り上がり、特に山室先生、岩井先生らが活発に質問し、他の参加者からも「とても良い企画だった。また、お願いします。」の声がありました。執行部としても企画が成功したことに安堵したところです。

講演会終了後の懇親会は杉江監査役の乾杯の発声から始まり、いろいろな話題「浅田先生のギター作り、河内先生が長年の小児歯科診療から一般診療へ挑戦したい、歯科医院オーナー経営者となって左うちわ生活を目指す松倉先生、本学補綴科を退職し今は父親と一緒に診療している宇和山先生、富山大学病院口腔外科で頑張っている吉田先生などなどの話し」に花を咲かせ、楽しく食事をしました。懇親会では、澤本副支部長が執行部(村山・澤本・新

川・本村・林)が参加した本学の観桜会(4月29日)の様子とその同じ日に本学富山県出身の学生たちとの会食の様子をパワーポイントを用いた軽妙な語りで皆を楽しませました。

最後は星野先生の「私の息子(星野正憲先生)をよろしくお願いします!」という親心一杯の締め挨拶で、今年の総会を盛会裏に締めくくりました。

- 出席者(敬称略)・・杉江玄嗣(1期)・星野照宗(3期)・浅田勝久(5期)・釣谷宗義(7期)・松倉純一郎(10期)・山室仁幸(13期)・岩井健治(13期)・河内和美(16期)・吉田啓子(23期)・宇和山猛(24期)・澤本正登(3期)・本村浩(5期)・林恒人(12期)・村山偉知朗(2期)

村山偉知朗(2期生)



## 愛知県支部

### 総会&時局講演

2009年5月24日(日) 名古屋国際ホテル

5月24日(日) 17:00より名古屋国際ホテルにて2009年総会が開催されました。杉藤庄平総務担当常務理事の司会進行で始まり、開会の辞を鈴木康次副会長、挨拶を吉田勝弘副会長がされ、議長に1期生の山川俊治先生が選出されました。2008年度の会務報告を専務、事業報告を各担当常務理事が行いました。議事に移り会計より収支決算報告、監事から監査報告がなされ可決承認されました。2009年度の事業計画案と事業に伴う予算案が発表され可決承認され2009年度の会務が無事執行出来る運びとなりました。議長退席後、山田真右監事より監事所見を橋本京一名誉顧問から総括の言葉をいただきました。閉会の辞を竹本憲夫副会長が行い、滞りなく総会を終了することが出来ました。

また本年度より日本歯科医師会副会長、愛知県歯科医師会会長を兼務され公務多忙を極める中、本学校校友会愛知県支部総会の時局講演会を快くお引き受けくださった宮村一弘先生に、日本歯科医師会で担当される歯科医師需給問題に

ついて私立大学協会との関係から歯科大学の存続問題・国家試験問題やそれに纏わる関係省庁等についての課題や、今後の方向性についてお話しいただきました。

懇親会においては、学長の森本俊文先生からは、挨拶の中で現在の大学の状況についてお話ししていただきました。懇親会も盛況のなか昨秋に愛知県知事表彰を受賞された、1期生の山田真右先生に愛知県支部から記念品が贈られ、山田真右先生には受賞の経緯を紹介していただきました。また新入会員2名も壇上で自己紹介をし、最後に7月12日に本部・東海4支部共催学術講演会で講師の一人として講演していただく、本学4期卒で今年1月に愛知学院大学歯学部インプラント科教授に就任された村上弘先生に挨拶をしていただきました。今年の総会は20期以降の若い先生方も多く出席して下さり、盛会の内に閉会することができたことを感謝致します。今後とも皆様のご協力をお願いいたします。

飯田 丈一(8期生)

## 愛媛県支部 総会&懇親会

2009年6月20日(土) 松山全日空ホテル

例年であれば「梅雨」のシーズン真っ只中、毎日鬱陶しい雨が降り続けている時期にも拘らず、今年松山市では早くも「渇水対策本部」が設置される程の「空梅雨」の最中、去る6月20日(土曜日)第11回松本歯科大学校友会愛媛県支部総会・講演会・懇親会が松山全日空ホテル・4F ガーネットルームで開催されましたので報告させて頂きます。

詳細に関しては、先ず総会で、前期に引き続き今期も加藤智彦先生(2期)が支部長を継続して行う事が、総会に参加した全ての先生方の「万丈一致」で可決され、その後加藤先生の司会で昨年の行事報告ならびに決算報告がなされ、その後今年の行事予定並びに予算案の説明が、担当の先生よりなされ、可決・承認されました。又加藤先生より、大学の現状、そして校友会費の「完納率」についてのお話がなされ、具体的な方法にもとづいて、会費の納付率アップの為の方法を取っていく旨の説明がなされました。

その後の講演会では、昨年

「とでも演題を決めて森本先生に講義をお願いして聞いてみてください、とても分かりやすく、勉強になると思いますが。」

さて、講演会終了後、場所を同ホテル内「ダイヤモンドホール」に移しまして、午後5時40分過ぎより愛媛県歯科医師会、松本歯科大学校友会愛媛県支部の友好同窓会であり、東京歯科大学、奥羽大学歯学部理事の先生方のご臨席を賜りまして懇親会が行われました。懇親会冒頭、森本先生からのお言葉の中で「今、大学の学生、教職員が一丸となって「改革」を推進しており、数年先には必ずその「成果」が出てくるのを「確信」している、つきましては同窓会の先生方にもよりいっそうの「ご支援」を賜り

たい。」との力強いご挨拶があり同窓生としても非常に「頼もしく」感じました。

その後、宴は楽しく進行し、途中「恒例」の羽倉先生「名司会」による「スクラッチゲーム」で最高に盛り上がった、あつと言う間の2時間半でした。午後9時前には、無事懇親会も終了し本年度の「総会」予定行事をすべて、無事に終えることが出来ました。

森本先生、昨年に引き続き遠路はるばる、愛媛の地までお越し頂きまして誠にありがとうございました。今後共、又愛媛県支部を宜しく願っています。以上簡単ではございますが、ご報告させて頂きます。

吉峯 隆史(11期生)



## 東京都支部 保険講習会

2009年7月17日(金)

前東京都歯科医師会 社保担当理事 早速晴邦先生をお迎えして、恒例の支部保険講習会が行われた。地域の特性として、卒後間もない先生が代診として勤務されていることが多く、適切な保険講習会を受ける機会が少ない事を考えると非常に重要な講習会である。東京都の1医療機関の平均件数は社保、国保を合わせて190件で、平均点数は1,292点となり全国平均を大きく下回っている。最近では不況の影響で東京と云えども自費治療が減少傾向にある。また医療費通知のわずかな差から患者の訴えにより個別指導が行われるケースも多

いと聞く。このような厳しい中で当支部の先生方は日々診療に当たられている。

日本のGDPにおける医療費の占める割合は8・2%、欧米先進国は約15%程である。にもかかわらずWHOによると日本の医療は世界のトップ水準にあると言われている。厚生労働省の言う「保険で良質な医療を提供する」目標のために我々はいままで犠牲になればいいのだろうか?取り漏れの無い的確な正しい保険請求を行う事で、少しでも収入のUPにつなげて欲しいものである。

鈴木正一郎(5期生)

### 編集後記

信州も朝夕は涼しい秋らしい季節になりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。広報では皆様に貢献できるような層努力して参ります。学術講演会、活動報告や同窓会の紹介などございましたらご投稿ください。また、ご意見ご感想もお待ちしております。

## お知らせ

### おめでとう

(開業)  
22期 紀田 晃生  
大阪府大阪市  
(2009/7/5)

E-mail info\_alumni@po.mdu.ac.jp 大須賀 直人